

(別紙1)指導過程

段階	学習内容	学習活動	指導と支援		評価計画	
			□教師の動き*資料・準備物	○ゲストティーチャーの動き	規準	方法
課題把握 5分	1 前時の学習内容の確認 ・かんなの刃の調整方 ・かんなの置き方	(1) かんなの刃の調整方法について確認する。 (2) かんなの置き方について確認する。 (3) 学習の課題を把握する。	□出席と準備物の確認 □刃の調整方法とかんなの置き方について確認する。 *かんな			
	2 学習課題の把握 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">かんな削りの技を習得しよう</div>					
課題追求 15分	3 かんな削りの実習の確認 ・かんな台の使い方 ・かんながけの姿勢	(4) かんなの削り方の確認をする。	□かんな削りの仕方を確認する。 □かんな削りの手本を見せ、削りくずを提示し意欲を高める。 *かんな、角材(スギ) □生徒がペアで作業できるよう事前に決め、作業隊形を指示する。 □うまく調整できないペアに対し、指導者で調整し、作業をさせる。 □削りくずを1枚適当に選び、学習シートに貼附させる。		①、②	□観察 □学習シート
	4 かんな削りの実習Ⅰ ①刃の調整 ②かんな削	(5) かんなの刃を調整しながら、かんな削りをする。				
課題解決 20分	5 プロの技を観察	(6) ゲストティーチャーの技を観察し、かんながけのコツをつかむ。	□ゲストティーチャーに関心をもつように、登場の仕方を工夫する。 □教師が提示した削りくずと比較させ、プロの技を実感させる。 □生徒をゲストティーチャーの周りに集合させ、コツをメモさせる。 □かんな削りのポイントの再確認をする。 □削り方の支援をする □削りくずから1番薄くできたものを選びせる。 □作業の片付けを指示する。	○ゲストティーチャー登場 ○かんながけを実際にやって見せる。 ○かんながけのコツを話してもらおう。		
	6 かんな削りの実習Ⅱ ①コツをいかしながらの刃の調整・かんな削 ②自分の削りくずの中で	(7) コツを知り、いかしながらかんながけを行う。		○言い足りない部分の補足をする。 ○削り方の支援をする	①、②	□観察 □学習シート
まとめ 10分	7 本時のまとめ ①自己評価カードの記入 ・削りくずを比べての自己評価を記入する。	(8) 削りくずを比べ自己評価カードに記入する。	□プロのアドバイスをもらう前ともらった後の削りくずを比べながら、本時を振り返らせる。		①、②	□学習シート
	8 ゲストティーチャーからの話	(9) アドバイスを聞き、今後の作業にいかす。	□ゲストティーチャーの話に集中させる。	○意欲面、技術面からのアドバイスとこれからの作業への意欲を高める話をす		
	9 次の予告	(10) 次の活動に意欲をもつ	□次時の活動の話をする。			